

# 料理の上達を支援するレシピシステムの提案

## ■ PBL活動のテーマ

本PTではアイデア創出と発表の繰り返しを行い、開発テーマを料理に決定した。

生活改善のために自炊を始める人はいるが、その多くは苦手や面倒といった理由で継続することが難しい。例えば、初心者には既存のレシピが読みづらく、理解しづらいという問題がある。

これらの課題を解決するために、前期ではCookingQuestを、後期では前期の活動の反省を踏まえてGraphRecipeとCookingNaviの、計3つのシステムを開発した。



## ■ CookingQuest

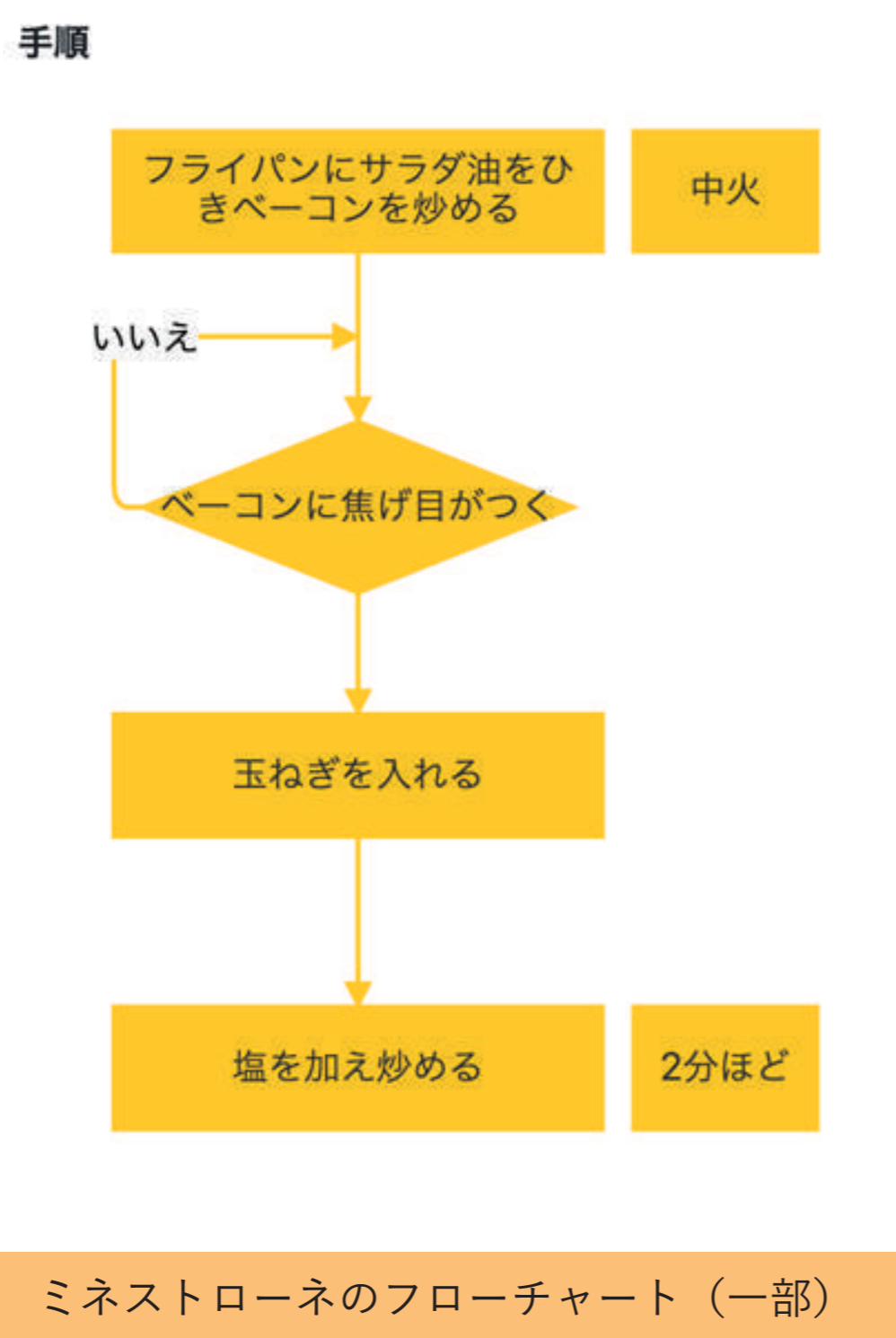
料理の上達と継続の動機付けを目的に、ゲームの要素を取り入れたRPG型アプリケーションを開発した。



## ■ GraphRecipe

音声で入力したレシピの情報を自然言語処理を介してフローチャートに変換して表示するシステムを開発した。

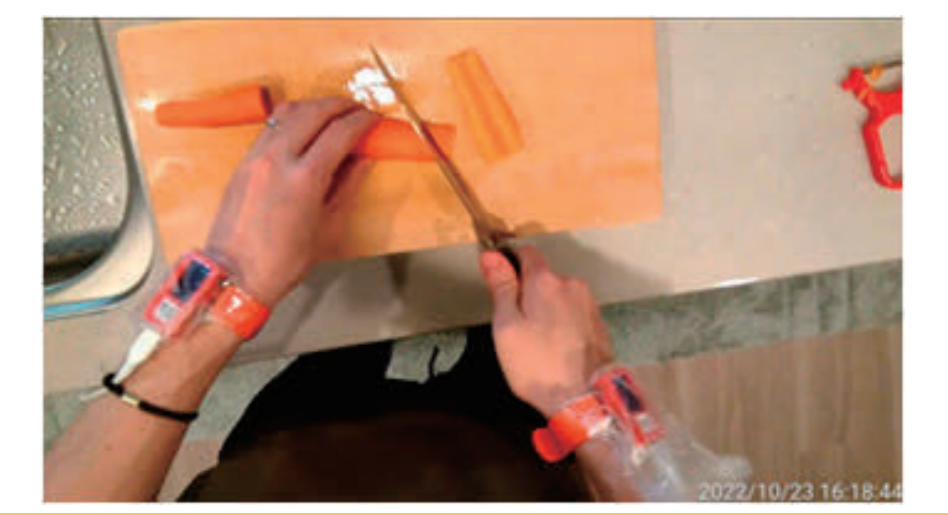
既存のテキストや動画のレシピと比較し、全体のフローが可視化されたことで調理工程全体の把握を容易にした。



## ■ CookingNavi

加速度センサを使ってリアルタイムに調理者の調理行動を認識し、調理工程の進捗や調理者のスキルに応じたレシピのガイドをするシステムを開発した。

また、並行して調理行動の認識精度向上にも取り組んだ。



## ■ PBL活動での学び

アンケートの結果をもとに議論を行った結果、システム提案のためにプレゼンテーションのブラッシュアップを繰り返したことが、「システム提案・ネゴシエーション・説得」のコアコンピテンシー獲得につながったと自己評価した。また、前期に実現可能性の考慮が不十分なまま開発に入った反省を踏まえ、後期では実現可能な提案を行うためにプロトタイプベースでの活動を行った。その他、システム検証のために調理活動を繰り返す中でメンバーの調理スキルが向上した。

一方、課題を適切に解決できているかどうかの十分な検証が行えなかったことが反省点として挙げられる。

